



給食センターや店舗等の厨房で利用される
調理ロボットの研究開発と実証

ロボット・
ドローン
06



コネクテッドロボティクス株式会社
取締役 COO
佐藤 泰樹



タニコー株式会社
代表取締役
谷口 秀一

浜通り復興に 向けたメッセージ

南相馬市がフードテックの好事例の町、日常生活にロボットが導入された最先端の町になるよう尽力いたします。

飲食業の省力化・均一化を実現する 「未来の厨房」の研究開発

浜通り地区の社員食堂や給食センターおよび一般店舗において、調理工程や食洗工程にロボットを導入することで、省力化・均一化を実現する「未来の厨房」を研究開発し、実用化に向けた実証実験ならびに量産試作を行います。

開発背景

飲食業界は、過酷な労働環境の為、慢性的な人手不足に直面しています。また、2020年の新型コロナウイルス感染症の発生以降、非接触のオペレーションの要求も高まっています。こういった現状に対して、当社のコア技術であるロボットコントロールとAIによって従業員の作業負荷の軽減・非接触オペレーションを目指します。

実用化開発の目標

実用化時期	令和8年度（2026年度）
販売製品・サービス名	フライヤーロボット、グリルロボット、ゆで麺ロボット、食洗機ロボット
成果物（最終年度）	それぞれの調理、及び食器洗いを自動化します。
創出される経済効果	南相馬市の地元企業に各調理ロボット、食洗機ロボットを導入頂くことで、人手不足の解消につながります。

開発のポイント

要素技術	当社のコア技術であるロボットコントロールとAI（人工知能）による画像認識を組み合わせる調理場の従業員の作業負荷の軽減、非接触オペレーションの実現
開発のポイント	厨房へのロボット導入の難易度を下げるためのソフトウェア開発及びロボットが掴んだものをハンドリングするためのセンシング・画像認識・AI(機械学習)の開発、及びロボットハンド等の開発

実施期間	2021～2023年
実用化開発場所	南相馬市、東京都小金井市
連携自治体	南相馬市

浜通り地域への経済波及効果

2021年は8名の現地の新規雇用、2022年は4名の現地の新規雇用。
浜通り地区開催の各種イベントに参加・セミナー登壇・新規イベントの企画と実施。

これまでに得られた成果

2021年 実証実験施設にてフライドポテトロボットを設置して稼働。約3ヶ月間に4,400名の方に見学・実食頂く。
2022年 働きたいネット主催『就職面接会 in 南相馬』他、多数の雇用イベント参加。採用活動及び雇用の実施。

コネクテッドロボティクス株式会社



福島県南相馬市小高区飯崎字南原65-1
(菊池製作所南相馬工場内)
☎ 03-4520-5786 (担当: 今野晴香)
✉ haruka@connected-robotics.com

タニコー株式会社



福島県南相馬市小高区福岡字白山311
☎ 03-5498-7914 (担当: 和中清人)
✉ wanaka@tanico.co.jp

投資規模	1~5億円
開発人数	10~29名
販売時期	令和8年度（2026年度）
販売形態	ロボット機体の販売
販売見込先	3社
協業希望先	量産メーカー